

未来共創戦略2025-2027



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

教育・人財戦略

主体的に変容し続ける先駆者の育成

- ・学修者が自身の成長を実感できる学士課程教育再構築と展開
- ・研究大学として世界に伍するための大学院学位プログラムの質向上
- ・多彩な学生の受入れを通じたキャンパスの活性化

世界トップ研究者集団とナレッジワーカーの育成

- ・戦略的人事改革による教職員の質の向上と研究力の持続的発展
- ・研究力向上を目指した国内外トップレベル研究者の招聘及び優れた若手研究者の戦略的育成・配置
- ・URA機能強化・博士人材の積極的登用を通じた研究開発マネジメント改革
- ・職員の高度化、教員の機能分化等による人的リソースの最適化

研究・医療戦略

強みとなる研究群のシステムによる強化・育成を通じた共創によるイノベーションの創出

- ・トップレベル研究者の組織化とリソースの集中投下による先鋭研究拠点の形成
- ・高等先鋭研究院間の連携強化による新たなサイエンス創出、次世代研究院の育成による研究の裾野拡大
- ・DX技術を核としたデジタル田園健康特区事業における規制緩和の実現及び医療技術・暮らしの変革
- ・共生型連合体、自治体及び産業界等との連携による社会改革の加速
- ・脱炭素効果の可視化等でカーボンニュートラルを啓発し地域企業との共創促進

日本屈指の「診療・教育・研究拠点」となる大学病院の構築

- ・地域中核医療機関との連携による持続可能な地域医療提供体制の構築
- ・個別最適な教育・研修プログラムによる地域・世界で中核的に活躍する次世代医療人の育成
- ・高度医療の提供及び高度次世代医療等につながる研究推進

環境・基盤戦略

教育基盤の構築と多文化共修環境の充実

- ・教育の質向上を図る基盤となる教職員能力開発プラットフォームの構築
- ・教育DXの推進によるLMS・e-ポートフォリオを活用した学習環境の高度化と学習効果の可視化
- ・多様な学生ニーズに応える包括的な支援体制の推進
- ・キャンパスの更なる国際化による世界水準の教育研究拠点の構築とソーシャルインパクトの創出
- ・国際機関・国内外連携大学・地域社会等との戦略的パートナーシップの構築
- ・ESD for 2030を先導する多文化共修環境の創成

共用・連携等による研究基盤の充実を通じたイノベーション創出集積拠点の形成

- ・先端分析計測設備・基盤設備の充実と学内外への共用（コアファシリティ）による活用の最大化
- ・研究設備の高度化・高効率化の推進
- ・研究基盤ネットワークの構築と強化
- ・共創イノベーションラボ（KIBINOVE）等を活用した産学共創の推進
- ・研究者の管理業務の負担軽減による研究時間の確保
- ・研究データ基盤の強化によるオープンサイエンスの推進

安定的かつ持続可能な財務基盤と強靱な経営体制の確立

- ・民間外部資金の拡大や保有資産の戦略的活用等による財源の多様化とマネジメント体制強化
- ・IRによるエビデンスに基づく全学的な資源再配分と戦略的経営判断の確立
- ・心理的安全性を確保した自律型組織によるアジャイルな働き方の推進
- ・ERM・内部統制による強靱なガバナンス体制の構築
- ・生成AIや内製アプリを活用した働き方改革の更なる加速